

完了後の評価個表

整理番号	1 - 1
------	-------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	北海道
地区名	むかわ町(旧穂別町)	事業実施主体	北海道、むかわ町(旧穂別町)、 苫小牧広域森林組合 (旧穂別町森林組合)
関係市町村	むかわ町(旧穂別町)	管理主体	北海道、むかわ町、 苫小牧広域森林組合
事業実施期間	H15～H17(3年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>位置等 むかわ町(旧穂別町)は、北海道胆振総合振興局管内の最東北部に位置し、周囲を日高山地や夕張山地に囲まれた山村地域である。市町村合併後(旧鶴川町、旧穂別町)は、町の南北に流れる一級河川の「鶴川」流域において、川沿いの肥沃な農耕地が開け、山・川・畑・海が一体となった集落が形成されている。</p> <p>森林の状況 当地区の民有林面積は28,182haで、人工林が9,711haで34%を占めており、そのうち間伐等の森林整備が必要となる 齢級から 齢級の森林が3,533haで約36%を占めている。 また、地区内の森林のうち、水源かん養保安林が3,988ha、土砂流出防備保安林が12,277haに指定されており、約58%が水土保持林に区分されている。このため、水源かん養機能等の公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに10,000ha近い人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。材価低迷等により森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する住民の期待が高まっている。 また、当地区には森林整備を効率的に実施するための基盤となる林道等の路網が十分に整備されていなかったことから、適切な森林施業の遅れが目立っていた。 このため、森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、森林整備を実施するとともに、森林への到達時間の短縮、労働力や資機材を効率的に移送・運搬すること等により林業労働の軽減及び施業コストの低減を図ることを以て森林整備を促進することを目的に林道を整備したものである。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽331ha、下刈827ha、除・間伐1,353ha、作業路1,030m 森林管理道整備 富内第2線 車道幅員 3.0m 開設延長 1,462m 利用区域面積 519ha 仁和中 中央線 車道幅員 3.0m 開設延長 0m 利用区域面積 293ha[計画調査のみ] 隆 農線 車道幅員 3.0m 開設延長 0m 利用区域面積 67ha[計画調査のみ] 和泉高見線 車道幅員 3.0m 開設延長 1,430m 利用区域面積 68ha ニタカイ線 車道幅員 3.0m 開設延長 1,801m 利用区域面積 173ha 下穂別線 車道幅員 4.0m 開設延長 2,529m 利用区域面積 845ha</p> <p>総事業費 1,193,383千円 (当初総事業費 1,436,000千円)</p>
----------	--

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成23年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業計画の変更により事業費は減となったが、初期保育段階での除・間伐を優先実施(評価対象となる現在林齢の変更による効果発生期間の増)及び長伐期施業への転換(伐期の延長による評価期間の増)により、事業採択時に比べ森林整備に係る総便益等が増加した。 また、森林管理道整備の 仁和中中央線及び 隆農線は、最終年度の計画変更において路線を追加し全体計画調査を実施したため、当該事業期間中の開設延長は0mである。</p> <p>総便益(B) 12,791,922千円 (事業採択時 12,289,448千円) 総費用(C) 2,566,021千円 (事業採択時 2,455,163千円) 分析結果(B/C) 4.98 (事業採択時 5.00)</p>
-----------------------	---

整理番号	1 - 2
------	-------

事業効果の発現状況	<p>手入れを必要としていた森林のうち2,511haについて間伐等の整備が実施され、森林の公益的機能の維持増進が図られた。植栽されたカラマツや広葉樹の成長は良好で、多様性を有する健全な森林が育成されている。</p> <p>林道整備により、施業地までの到達時間の短縮及び施業コストの低減が図られ、間伐・保育等整備前は3年間で659haだったが、整備後は3年間で約779ha(1.2倍)に増加した。</p>
事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業で整備された森林は、北海道、むかわ町、森林組合が適正に管理しており、整備後の林況や保育管理は良好な状況にある。</p> <p>当事業により開設された林道は、むかわ町が定めた林道維持管理規程に基づき適切に管理されており、定期的に草刈りや側溝掃除等が行われている。</p> <p>また、林道が整備されたことにより、会社等の植樹や下刈活動が活性化した地区もあり、住民参加の維持管理活動も行われている。</p>
事業実施による環境の変化	<p>森林整備が実施されて健全な単層林や複層林、針広混交林が造成・育成され、森林環境や景観の維持向上が図られている。</p> <p>林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等により林業従事者の労働条件の改善や搬出等の作業コストが低減され、森林所有者の森林施業に対する意欲が向上している。地元森林組合においても伐採や植栽、除伐・間伐等の実施面積が開設前よりも増加している。</p> <p>林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
社会経済情勢の変化	<p>林道の整備が行われたことにより、森林施業コストの低減が図られ、林業を主とする会社組織が充実してきており、当町はもとより、近隣市町村の林業会社もむかわ町内の森林施業に深く関わりを持つなど、地域林業の活性化への期待が一層高まっている。</p>
今後の課題等	<p>森林所有者の森林施業の実施に対する理解は徐々に深まってきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況はまだ十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対し一層の普及啓発等を行い、間伐等森林施業の積極的な実施を促進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見： 森林整備事業実施によって水源かん養や山地保全等の公益的機能の発揮に寄与している。(北海道) 林道の開設後は、自家用車で森林へ散策に訪れる者が増加してきている。地域林業の一層の活性化に向けてPRを強化していきたい。(むかわ町) 作業の一層の低コスト化や林地残材の解消等、森林所有者の意識が高まってきている中、今後とも持続的な森林施業の実施に努めていきたい。(森林組合)
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 重点的な間伐等の森林整備の実施による水源かん養や山地保全等の公益的機能の高度発揮や、森林整備を効率的に行う基盤となる路網整備が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 森林整備及び林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に際してもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 必要とされていた間伐等の森林整備が行われ、水源かん養や山地保全等の公益的機能の維持増進が図られたこと。 林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、作業効率の向上及びコストの低減が図られた結果、森林整備が促進されており、今後も一層の効果発現が見込まれていること。 以上から、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

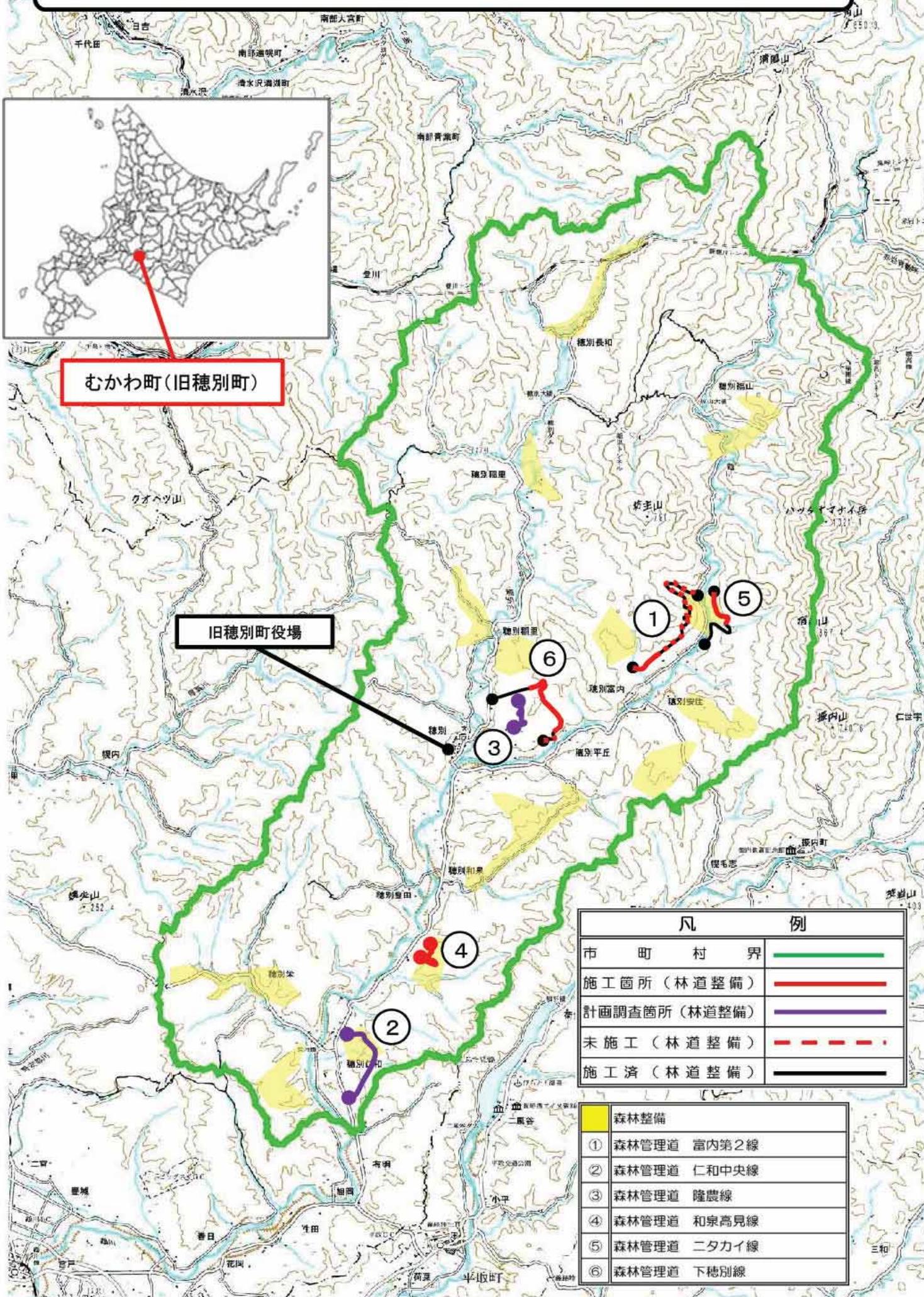
都道府県名: 北海道

地域(地区)名: むかわ町(旧穂別町)

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,252,510	
	流域貯水便益	1,003,017	
	水質浄化便益	1,707,962	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,451,385	
	土砂崩壊防止便益	701,457	
環境保全便益	炭素固定便益	1,287,877	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	95,161	
	木材生産確保・増進便益	467,413	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	614	
	森林整備促進便益	824,526	
総 便 益 (B)		12,791,922	
総 費 用 (C)		2,566,021	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,791,922}{2,566,021} = 4.98$		

森林環境保全整備事業 むかわ町（旧穂別町）地区 概要図 【北海道】



むかわ町(旧穂別町)

旧穂別町役場

凡 例	
市 町 村 界	
施工箇所（林道整備）	
計画調査箇所（林道整備）	
未施工（林道整備）	
施工済（林道整備）	

	森林整備
①	森林管理道 富内第2線
②	森林管理道 仁和中央線
③	森林管理道 隆農線
④	森林管理道 和泉高見線
⑤	森林管理道 ニタカイ線
⑥	森林管理道 下穂別線